







患者氏名 : @PATIENTNAME 様

担当医:

担当看護師:

本人・家族

月日(日時)	/	/	/ ~	/ ~	/
経過(病日等)	ICU退室1日目	ICU退室2日目	ICU退室3日目~	ICU退室5日目~	退院(ICU退室14日目)
達成目標	◇循環動態が安定している ◇ドレーンからの出血がない ◇創痛がコントロールされている ◇食事が半分以上摂取できる ◇トイレ・洗面への歩行ができる		◇循環動態が安定している ◇創感染・肺炎の徴候がない ◇創部に異常がみられず、38.5℃以上の発熱がない ◇積極的に病棟内歩行ができる ◇感染予防のための行動がとれる		◇循環動態が安定している ◇感染徴候がみられない ◇内服薬の自己管理ができる ◇退院後の生活での注意事項がわかる
治療・薬剤・処置 (点滴・内服)	心電図モニター・酸素・点滴・尿管がついています 傷口に溜まる液を外に出すためにお腹に管(ドレーン)がついています ドレーンからでる液の量をみて、回診時に管を抜きます   				
検査	適宜レントゲンや採血・その他検査があります。検査は前日にお知らせしま				
活動 安静度	本日はベッド上になります。なるべく体を起こしましょう。	朝、ベッドサイドに立ち、良ければ体重計まで歩きます。日中は体を起こしているようにしましょう。☆点滴の管などがあります。初めて歩くときはお知らせください。	できるだけベッドから離れて過ごしましょう。トイレ・洗面以外にもリハビリのために病棟内を歩行してください。痛みで動けない場合は痛み止めを使用して動いていきます。	検査へ歩いていくことができます。リハビリ室へいってリハビリを始めます。リハビリの時間以外にもどんどん動いてください。	
食事	治療食になります。 水分制限が(必要・不要)です ( )ml/日 きざみ食から開始し、徐々に普通の硬さのご飯にかわります 食事も治療になります。頑張って食べてください。食事が半分以下の場合、栄養補助ドリンクをのんでいただきます。 なお、差し入れ等は、医師の許可された方のみになります。(塩分やカロリーなどの取りすぎを防ぐため)			 	
清潔		体ふきをお手伝いします。	管がすべて抜けた場合、その翌日からシャワーに入ります。(感染予防のために毎日入ります。)		
排泄		朝、体重が測れたら、おしこの管を抜きます。			
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導 在宅復帰支援計画 総合的な機能評価	担当看護師より手術後の計画についてお話しします。 		手術後から寝たまの生活が続いていて、肺の機能が弱っています。肺炎を起こさないために動ける範囲でどんどん動いて行きましょう。痛みや眠れないときはお薬をお渡します。		・内服薬をご自分で管理していきます。薬剤師より薬のお話があります。 ・退院後も病院の食事と同様に減塩が必要になります。栄養士より食事についてお話がきけます。 ・退院するまでに日常の生活についての注意点などをお話します。

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

市立四日市病院 心臓血管外科 2018年2月改訂